

INSEM（インセム）工法って何？

現在、複数の溪流で砂防堰堤の建設をINSEM（インセム）工法で行っています。

INSEM工法とは、現地で発生した土砂にセメントと水を混ぜて改良土とし、建設機械により敷き均し・締め固めを行うことによって、砂防施設や地盤改良などに活用する工法です。

十分な強度を持ったINSEM材の外側に外部保護材（コンクリートブロック、軽量鋼矢板）を設置して土石流に耐えうる砂防堰堤を造ります。

現地で発生する土砂の有効活用により、コスト縮減・環境負荷の軽減を実現するとともに、INSEM材の施工は、連日打設が可能のため、工期の短縮が可能となり、砂防堰堤の効果が早期に発揮できます。

施工状況（1152溪流の場合）

①INSEM材の製造



- ・ふるい分けした土砂にセメントと水を混合する
- ・この現場では専用の機械により混合を行っている

④INSEM材の締め固め



- ・敷き均したINSEM材を、タイヤローラー等で締め固める

①～④の作業を繰り返す

②外部保護材の設置



外部保護材

- ・堰堤の外側に外部保護材を設置する

③INSEM材の敷き均し



- ・製造したINSEM材を外部保護材の中に敷き均す

※現在、INSEM（インセム）工法により施工されている砂防堰堤

- ・1004溪流 ・1005溪流 ・304溪流 ・306溪流 ・1007溪流 ・307溪流
- ・1152溪流 ・1153溪流 ・1154溪流 ・6157溪流

広島豪雨土砂災害対策現地推進室

所在地：広島市安佐南区八木5丁目31-1

太田川河川事務所 八木出張所（高瀬分室）

連絡先：082-830-2367

室長：横尾和久

本誌担当：井上英和



工事進捗状況

平成27年12月21日時点



工事の進捗状況の写真を現地推進室のホームページ

(<http://www.cgr.mlit.go.jp/otagawa/topics/news/gensui/index.html>) に掲載しております。